

決算審査のあらまし

閉会中の各常任委員会に付託されていた平成19年度一般会計歳入歳出決算等15決算議案は、11月27日の本会議でそれぞれ認定しました。

《決算の審査日程》

9月3日 (本会議) ○決算議案上程、閉会中の委員会に付託
 10月22日～10月24日 (常任委員会(厚生委員会、文教経済委員会、建設水道委員会))
 ○付託案件審査
 10月31日～11月1日 (常任委員会(総務委員会))
 ○付託案件審査
 11月27日 (本会議) ○委員長報告・決算議案結審

議案審議結果		
議案番号	件名	審議結果
第79号議案	平成18年度長崎市病院事業会計決算	認定
第80号議案	平成18年度長崎市水道事業会計決算	〃
第81号議案	平成18年度長崎市下水道事業会計決算	〃
第82号議案	平成18年度長崎市一般会計歳入歳出決算	〃
第83号議案	平成18年度長崎市観光施設事業特別会計歳入歳出決算	〃
第84号議案	平成18年度長崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	〃
第85号議案	平成18年度長崎市土地取得特別会計歳入歳出決算	〃
第86号議案	平成18年度長崎市中央卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	〃
第87号議案	平成18年度長崎市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	〃
第88号議案	平成18年度長崎市財産区特別会計歳入歳出決算	〃
第89号議案	平成18年度長崎市老人保健事業特別会計歳入歳出決算	〃
第90号議案	平成18年度長崎市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	〃
第91号議案	平成18年度長崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	〃
第92号議案	平成18年度長崎市生活排水事業特別会計歳入歳出決算	〃
第93号議案	平成18年度長崎市診療所事業特別会計歳入歳出決算	〃

一般質問(個人質問)

11月定例会では、11月30日及び12月3日・4日・5日・6日の5日間に行われ、たつて市政一般質問(22人)が行われ、当面する市政の重要課題について活発な論議が交わされました。今回の個人質問では会派ごとに議員1項目ずつ計22項目を掲載しております。

市民クラブ

●国際機関等の誘致

議員 長崎の都市イメージに合致した機関等の誘致について伺いたい。
 市長 本市には、これまでの歴史を経て培った国際性や、被爆都市として世界に対して平和を訴える役割を担っているなどの都市個性があり、長崎の都市イメージに合致した機関の誘致は都市個性の発揮に有効と考えている。また、機関等の誘致により地域経済の活性化や、長崎からの情報発信の強化、都市イメージの向上にもつながっていくことも考えられる。このうち、国際機関の誘致については、実現できれば国際観光都市としての長崎の個性が活かせるものと考えている。
 設置場所が未定の国際機関については、外務省から地方自治体に対して情報提供されると聞いており、国の機関国際機関等の誘致については、情報収集に努めるとともに、費用対効果を含めた総合的な効果について十分勘案の上、その可能性を探っていききたい。

●基金・補助金の活用

議員 基金・補助金の運用及び活用について伺いたい。
 市長 一般会計における平成18年度末基金残高は、財政調整基金及び減債基金を除く26の特定目的基金の合計で約220億円である。基金の活用については、多くの行政課題に積極的に取り組むための財源として今後ともその活用に努めていきたい。基金の運用については、そのほとんどを譲渡性預金で運用している。一部に国債での運用もあるが、取崩し型の基金については、償還期間の中途で換金を行った場合には元本割れの可能性もあり、国債による運用がなじまないものもあると考える。中途換金の必要がない果実運用型の基金は、国債などを含め各種運用方法のメリット・デメリットを見極めながら、より有利な運用に努めていきたい。
 また、国等の補助金については、新たな制度を含め、情報を的確に把握しながら可能な限り活用に努めていきたい。

●平和行政

議員 原爆資料館の平和学習室の土日の使用について伺いたい。
 原爆被爆対策部長 原爆資料館には、平和を考える場を提供するため、原爆資料館ホール及び平和学習室を設けている。有料施設である資料館ホールについては、舞台設備の操作業務を外部委託し、休館日以外はすべて利用が可能となるように体制を整えている。
 一方、平和学習室は、資料館ホールと違い、有料の貸室専用のスペースで